No. 42　　2025 年 9 月 1 4 日

三位一体後 第 十三 主 日 礼 拝

説 教 『 誰 が 家 族 な の か 』

吉 丸 初 美 師

司 会	高 橋 圭 子 さん
奏 楽	自 動 演 奏 機
招 詞	Ⅰヨハネの手紙 4章9～10節
主 の 祈	（ 5 6 4 ）
讃 詠	5 4 6
交 読 詩 編	詩 1 1 9 編 65～72節
祈 祷	
讃 美 歌	21 － 5 4 2
使 徒 信 条	（ 5 6 6 ）
聖 書	マルコ福3章31～36節
説 教	(口語訳55頁、新共同訳66頁)

『 誰 が 家 族 な の か 』

祈 祷	
讃 美 歌	21－ 5 6 3
献 金	
感 謝	
報 告	
頌 栄	5 3 9
祝 祷	
後 奏	

次週の礼拝(三位一体後第十四主日礼拝)
説 教 『 あなたは決してひとりではない 』
創世記28章10節～19a節
招詞 ローマ人への手紙 8章14 交読詩篇20編
讃美歌 546、21-11、21-464、543

礼 拝 当 番

今週	14 日	司会	高 橋 圭 子さん
次週	21 日	司会	安 部 愛 さん

会 堂 清 掃 奉 仕　10 月 5 日 (日)
コーヒータイム後に行ないます。

本 日 の 集 会

★教 会 学 校　午前9時45分
★ コーヒータイム　礼 拝 後 ～
それぞれの思いを語り合いましょう。
★広島西分区夕涼み会 15時30分～広島流川教会
ゲーム・バーベキュー等　参加費;1000円です。

今週の集会/スケジュール

★日本基督教団宇部教会・宇部緑橋教会合同式
9月15日(月)11時～13時30分会場:宇部緑橋教会
★聖書を読む会　9月16日(火)10時30分～12時
創世記 天地創造物語を読み感想を話します。
是非一度参加してみましょう。
❁めぐみ幼稚園礼拝 9月19日(金)10時30分～
詩篇112編2節のお話をします。子どもたちは静かにしてお話を聞きます。大きな声で賛美歌を歌います。誰もが心優しくなる時間です。感謝します。
★広島キリスト教信徒会例会　9月20日(土)14時～
講演:被爆80年を覚えて～戦後キリスト者の歩み
講師　月 下 美 孝 牧師 (前信徒会々長)
会場 : 広島牛田教会　是非ご参加ください。

次週以降のスケジュール等

❁学校法人広島西部教会学園理事・評議員有志及び広島西部教会役員との協議会　9月21日(日)12時
●レコードコンサート 9月28日(日)13時～15時30分
シ ベ リ ウ ス　バイオリン協奏曲ニ短調 作品47
ブルックナー　交響曲 第9番 ニ短調 [原典版]
皆様お誘い合わせの上参加してください。
非日常な時間は気分をリフレッシュさせてくれます
★西中国教区新任教師オリエンテーション 9月30日(火)11時～15時　於:日本基督教団 広島流川教会
吉丸伝道師が参加されます。

先 週 の 集 会	男	女	計
教 会 学 校	0	0	0
主 日 礼 拝	1	5	6
聖書を読む会	3	2	5

◇今週の説教要旨 (三位一体後第十三主日礼拝)
『誰が家族なのか 』マルコ福音書３章３１～３６節
家族とは誰なのか？こうした疑問は、時代によって変わったり、人によって違ったりします。キリスト教では家族は、神から与えられた生活共同体であり互いに愛し合い、支え合う場です。今日の箇所でイエス様は実の家族を目の前にして「わたしの母、わたしの兄弟とは誰か」と問われました。そして「神の御心を行う人こそ、わたしの兄弟、わたしの母である」と教えられました。これは肉体的な家族を拒否しているのではなく、家族の広がりが霊的家族である事を示されたのです。それは、初代教会がユダヤ社会の中で家族や共同体からの断絶を経験していたためでした。家族とは単なる制度や血縁ではなく互いに支え合い、存在を認め合う共同体ではないかとイエス様は言われたのです。家族や群衆そして律法学者たち全てがイエス様を誤解していました。その中にあって、御心に従う人々を真の家族と呼ばれました。これは十字架の始まりでもあり、イエス様が血縁よりも神の使命を優先した象徴的なエピソードです。だからといって、家族をないがしろにした訳でなくて、ただ霊的家族の優先順位を示すための出来事だったといえます。私たちは今日、この御言葉をどう生きるのでしょうか？　信仰による新しい家族を受容しましょう。私たちはキリストにあって兄弟姉妹です。礼拝で会う人々は、単なる知人や仲間ではありません。神に結ばれた家族です。そうした中には、血のつながりを持たない人や、家族から拒まれた人もおられます。そうした人たちにとっても、教会は真の家族となります。神の家族の中ではだれ一人孤独ではありません。私たちはキリストの家族に迎えられています。私たち一人ひとりが、神の御心を行いながら、この家族として生きるとき、教会は本当に「地の塩」「世の光」となります。そして、そこが私たちの居場所ではないでしょうか。